

千葉県 山武市様 市町村合併に際してのデータ統合をSVMで簡単に

2006年6月1日、山武市

コンピュータ ダイナミックス株式会社（本社：東京都新宿区百人町、代表取締役：坂本 寛、以下コンピュータ ダイナミックス）は、StoreAge Networking Technologies 社（本社：イスラエル、ハイファ、CEO: Eli Shapira、以下 StoreAge）の SVM（Storage Virtualization Manager）を、システムイ

ンテグレータである株式会社 大崎コンピュータエンジニアリングのマネージングのもと、千葉県山武市に設置致しました。StoreAge の SVM は、ストレージ製品を集中管理するだけでなく、個別のストレージ製品以上の機能・安全性を提供しようという発想の製品です。また一方で、他社競合製品とは比較にならないほど、オペレーションコストを抑えることができます。さらに、リモートミラーリング機能を活用することで、離れた拠点に安全かつ確実にデータを送信することができます。



山武市

千葉県 山武市

人口：59,010 人 世帯数：19,062 人（2005年10月1日現在）

2006年3月27日、成東町・山武市・蓮沼村・松尾町の4町村が合併。

新市名「山武市」となりました。千葉県の東部に位置し、県都千葉市や成田国際空港まで10～30キロメートル、都心へも約50～70キロメートルという地の利に恵まれたところにあります。稲作、野菜や果実の生産など農業が盛んな土地です。また、山武杉などの林産物、九十九里浜の海の幸と、自然の恵み豊かな地域であるとともに、観光リゾート地として海水浴やサーフィン、テニスなどのスポーツも楽しめ、若者にも魅力ある地域資源を有しています。

合併する必要がありました。

- ① 人口の減少と少子高齢化の進行に伴う、合併の必要性。
- ② 日常生活圏・経済圏の拡大と IT（情報通信技術）の急速な発展への対応の必要性。
- ③ 地方分権への対応の必要性。



システム要件

1. セキュリティポリシー遵守のため、仮システムにおいてセキュリティパッチ等のテストを事前に行ないたい。
2. リース納品されているサーバ入れ替え時に、環境をスムーズに移行したい。
3. 運用管理コストを削減したい。
4. ベンダーフリーの環境でストレージを選別・導入したい。
5. 分散しているストレージを統合管理したい。

システムインテグレータ：

株式会社 大崎コンピュータエンジニアリング

本社：東京都品川区大崎 1-11-2

ゲートシティ大崎イーストタワー2階

設立：1954年1月 資本金：9,000万円

代表取締役社長：武田 専

事業内容：電機・通信そして情報のエンジニアリング会社。システム・コンサルティングから施工保守、アウトソーシングサービスまで、トータルなシステムサポートサービスを提供しています。また、各自治体様には、基幹業務としての住民管理及び、それに伴う各種証明書の発行、税務管理を行なうシステムに上る、総合的なソリューションを提供しています。

<http://www.oce.co.jp/>

安全なシステム移行・データ統合が課題でした。

「SVMでこんなことをしています。」

1. Windows サーバ上の AD や自治体各システムへストレージを供給しています。
2. セキュリティパッチなどの環境変化時の事前テストに使用しています。

VMware GSXserverへの、ストレージを供給。

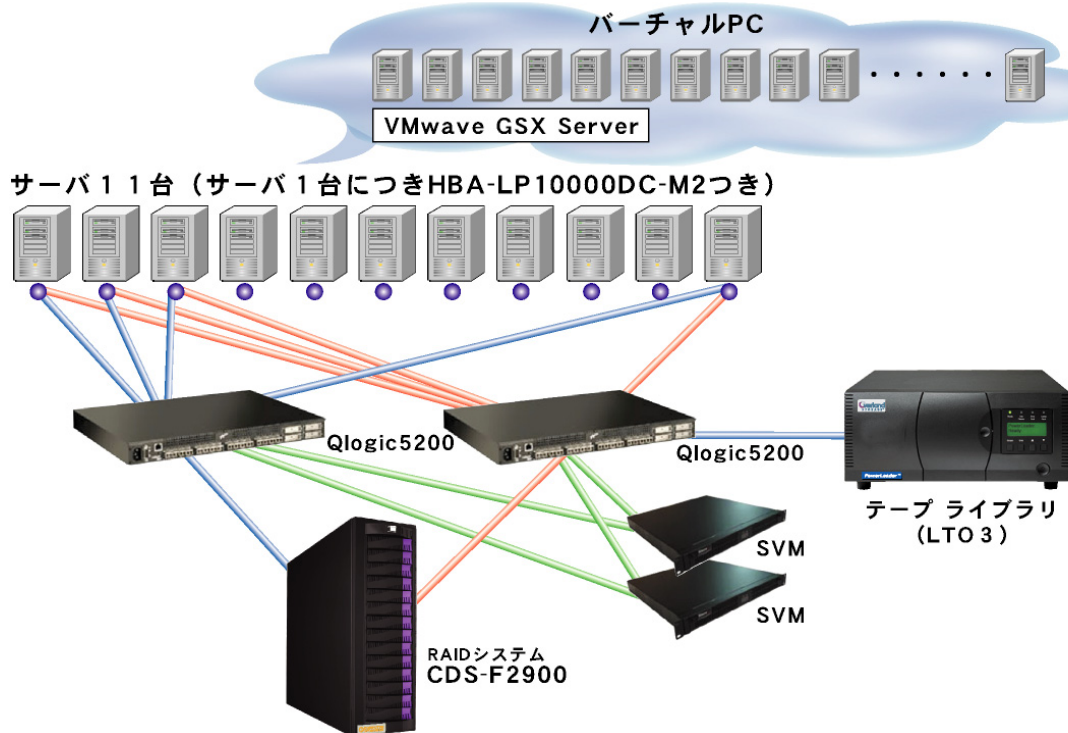
開発とテストの合理化・・・開発、テスト用の多数のマシン環境と複数のオペレーティングシステムを、サーバベースの仮想マシンによって管理します。

サーバ統合の実装・・・アプリケーションおよびインフラストラクチャ・サービスを、拡張性と信頼性の高い、より少数のエンタープライズ・サーバに統合します。

迅速なサーバ・プロビジョニング・・・事前に構成された仮想マシン・サーバは、1度の処理で迅速に構築が可能で、さらには任意の場所への即座な展開を実現します。新規サーバのプロビジョニングは、新しい仮想マシンをPXEブートで起動し、システムイメージをダウンロードすることで、ファイルのコピー同様の容易な操作で実行可能にします。

「SVMを選んだ決め手」

1. ハード面でもソフト面（Windows, Linux などすべてのOSに対応）に対してもマルチベンダーなので、自由自在に構成できる点が良いと思います。特に、使用目的に合わせて、バックアップを強化したいところには高価なストレージ、通常運営のところには安価なストレージを、という具合に使い分けできるようになったことで、コストを大幅に削減できるようになりました。
2. システムを稼動しながら、オンラインでのスナップショットの作成ができること。
3. デザスタリカバリを実施することを考えると、SVMは特殊なツールを必要とすることなく、現状の環境を生かしてシステムの構成ができるので、良いと思いました。
4. VMware との組み合わせについて、コンピュータダイナミックスの対応が積極的だったことに心強さを覚えました。
5. この度の導入によって、コンピュータダイナミックスとの協業体制の確立ができたと思います。今後も継続的に付き合いをして、ひとつづつ実績を作っていきたく考えています。(大崎コンピュータエンジニアリング 担当氏:談)



コンピュータダイナミックス株式会社

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-23

TEL : 03-3366-9741 FAX : 03-3366-9800/9494

E-MAIL : compd@computerdyna.co.jp ホームページ : <http://www.computerdyna.com> おかげさまで24年

